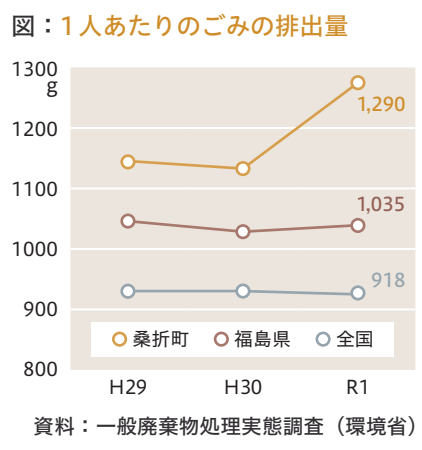




折町で出るごみの排出量は、1日あたり1人1、272g（令和2年度）。全国・県平均も上回り、全国的にごみの量が多い地域となっています。

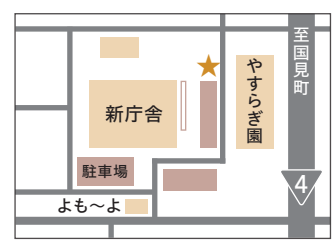
そこで、まず、「地方創生SDGs推進の町」を宣言した町職員が身近なところから取り組もうと、ごみの中の「アルミ缶」に注目し、役場集積場北側に「アルミ缶回収ボックス」を設置しました。これまで役場でごみとして捨てていたアルミ缶を回収し、リサイクルに回すという取り組みです。



▲カゴをラッピングし、SDGsの取り組みとしてPR

現在、桑折町では、アルミ缶は燃やせないごみとして排出されています。伊達地方衛生処理組合でも、アルミ缶のリサイクルを実施していますが、この回収ボックスを活用することで、ごみの排出量削減につながります。町民の皆さんも投入できますので、共に資源回収に取り組みましょう。ただし、アルミ缶以外の物は入れないようお願いいたします。今、世界規模で取り組んでいるS

# アルミ缶リサイクルから始めるSDGs 資源循環への第一歩 アルミ缶回収を開始



SDGs（持続可能な開発目標）。町内でも、学校や町内会単位で、積極的に資源回収に取り組んでいます。

興味のある団体は、左記まで問い合わせください。

皆さんの一つ一つの行動が、資源を循環させることにつながっています。年末年始は、特にごみの排出量が増える時期です。溜まったアルミ缶は、地域の資源回収や役場の回収ボックスを活用し、SDGsに取り組みましょう。

圃生活環境課 ☎58212123

## SDGs宣言のまち

町は、「地方創生SDGs推進の町」を宣言し、各分野であらゆることに取り組んでいます。17の目標のうち、今月は「12：つくる責任 つかう責任」の内容を紹介しました。まずは身の回りのことから実践してみましよう。

